

2-(5) 教育上の目的に応じ学生が習得すべき知識及び能力に関する情報

●主要科目の特長・科目ごとの目標等

【教養科目】

建学の精神を学ぶ科目：「建学の精神と仏教」

空間デザイン学部はその教育方針として、建学の精神である「行学一如」のいう行動と知識の一体性、実践と理論の相即性をもとに、知性と理性、旺盛な勤労意欲と責任感、専門的職業知識・技術をもった人材の養成を目指すことを掲げている。「建学の精神と仏教」は入学後の学生が獲得すべき能力を養成するために必修とし、主要授業科目として設定した。

情報キャリア育成科目：「空間デザイン入門Ⅰ」「空間デザイン入門Ⅱ」「キャリアデザイン」「ICTリテラシー」「空間デザインとICT」

空間デザイン学部で養成する人材像として、「人間の諸活動と建築・インテリアを中心とする空間デザインにかかわる基礎的な素養を身につけさせたいと、自己実現と社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力、人間のくらしや環境を向上させる担い手となるための技術力と実践力を総合的に習得させる」ことを掲げている。ICTリテラシー及びキャリアデザインについて学ぶことは、現代における空間デザインにかかる素養として、また専門科目へ潤滑な導入を促すために必須であるため全5科目を必修、主要授業科目とした。

言語力育成科目：「言語表現演習Ⅰ」「言語表現演習Ⅱ」「英語（会話表現）Ⅰ」「英語（会話表現）Ⅱ」「英語（読解）Ⅰ」「英語（読解）Ⅱ」

社会で通用する日本語能力を身に付けさせるとともに、英語力についての知識を深めることは、ディプロマ・ポリシーの「建築・インテリアデザインの提案が出来る企画力や発想力、表現力と共に、十分なプレゼンテーション能力と社会性の養成（コミュニケーション力・社会性）」を達成する基礎として必須であると考えられる。

【専門科目】

基本科目：「空間デザインの基礎Ⅰ」「空間デザインの基礎Ⅱ」「平面と立体表現の基礎」「製図の基礎」「図学と透視画の基礎」「CADⅠ」「CADⅡ」「建築・インテリアデザイン入門」「プロダクトデザイン入門」「設計製図Ⅰ」「設計製図Ⅱ」

本学科の特色である、建物の内部から外部まで、空間デザインにかかわる幅広い分野で活躍できる人間性と社会性を備えた人材を養成するための基礎となる科目である。

インテリアデザインコース科目：「インテリアデザインⅠ」「インテリアデザインⅡ」「インテリアデザイン論」「インテリアデザイン計画A（住居・店舗）」「インテリアデザイン計画B（商業・宿泊施設）」「インテリアデザイン計画C（福祉施設）」

インテリアに関する様々な知識を、取り巻く文化事象を含めた幅広い視点から学ぶことで、人間にとって居心地の良い空間とは何かを考えるための科目のうち、核となる科目である。

建築デザインコース科目：「建築デザインⅠ」「建築デザインⅡ」「建築デザイン論」「建築計画A（独立住宅）」「建（独立住宅）」「建築計画B（集合住宅）」「建築計画C（公共建築）」

人々が豊かに生き、暮らしていくための住まいや、それを取り巻く環境について考え、デザインする方法を段階的に身につけることを目標とした科目のうち、核となる科目である。

専門ゼミ科目：「インテリアデザインゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「建築デザインゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」

学びの集大成となる科目である。特にディプロマ・ポリシーの「建築・インテリアデザインを実現するための多様な技術力と、それを社会の中で広く応用していく実践力の養成（技術力・実践力）」のために重要な科目である。

（以上）